

でも、遺されたのは未来。



親友のイノチを救えなかつた彼。

かけがえのないイノチを守れなかつた彼女。

「遺品整理」という

イノチと向き合う仕事だった。

アントキノイノチ

—あの時の命—

岡田将生 積倉奈々 松坂桃李／原田泰造

染谷将太 檀れい 鶴見辰吾／柄本明／堀部圭亮 吹越満 津田寛治 宮崎美子
(友情出演)

監督:瀬々敬久「ヘヴンズストーリー」（ベルリン国際映画祭 国際批評家連盟賞・最優秀アジア映画賞）

原作:さだまさし「アントキノイノチ」（幻冬舎刊）脚本:田中幸子、瀬々敬久 配給:松竹 www.antoki.jp

「余命1ヶ月の花嫁」「Life 天国で君に逢えたら」のスタッフが贈る感動作

君に出会えたから、
ひとりじゃないと思えたから、
もういちど、生きたいと思つた。



瀬々敬久監督最新作(第61回ベルリン国際映画祭 国際批評家連盟賞・最優秀アジア映画賞受賞『ヘヴンズ ストーリー』)

岡田将生 × 榮倉奈々 この秋、心揺さぶる感動作誕生

高校時代のある事件がきっかけで、心を閉ざしてしまった永島杏平。

父の紹介で遺品整理業の現場で働き始めた杏平は、久保田ゆきと出会う。

命が失われた場所で共に過ごす中で、次第に心を通わせていく2人。

そんなある日、ゆきは衝撃的な過去を杏平に告げる。そして、杏平の前から姿を消してしまう——。

2009年に発売され、幅広い年齢層の感動を呼んだ「アントキノイノチ」(さだまさし著、幻冬舎刊)。本書が『余命1ヶ月の花嫁』、『Life天国で君に逢えたら』などで、"命"というテーマと向き合い続けてきた制作チームにより、遂に映画化される。

主演を務めるのは、2010年『告白』『悪人』などに出演し、躍進目覚ましい岡田将生と、『余命1ヶ月の花嫁』での演技が高く評価された榮倉奈々。今、最も注目を集めれる2人が本作で初共演を果たした。また、原田泰造が2人を見守る重要な役どころで出演するほか、松坂桃李や染谷将太などの注目の若手から、柄本明、檀れいといった実力派俳優が顔を揃え、スクリーンを彩っている。

監督は、昨年公開された『ヘヴンズ ストーリー』で、第61回ベルリン国際映画祭・国際批評家連盟賞とNETPAC賞(最優秀アジア映画賞)の2冠を獲得した瀬々敬久。自らの過去に向かい、そこから一歩ずつでも前に進もうと願う若者を、爽やかに描ききった。2011年秋、希望をつなぐイノチの物語が誕生する。



photo by chihoko ishii

11月 ロードショー

powered by TSUTAYA

